

S-TEAM教育推進事業 「STEAM」 推進プロジェクト
外部連携支援事業（学校活用型）実施報告書

学校名	北海道旭川北高等学校
実施日時	令和5年9月12日（火） 14:25～16:15 9月19日（火） 14:25～16:15
講師	（所属）ACC（旭川クリエイターズクラブ） （職・氏名）会長 弦間 信 （連絡先電話）0166-73-6027 （電子メール）cagicacco@me.com
実施概要	<p>1 ねらい</p> <p>(1) 生徒が「デザイン」の手法を用いた思考方法を学ぶことで、「探究」への理解を深める。</p> <p>(2) 生徒が「デザイン」の手法を用いたワークショップにおいて「探究の過程」を体験することで、自分でまとめた内容を他者に伝えるための表現方法について理解を深める。</p> <p>2 日程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月12日（火） 14:25～16:15 講義・演習 ・ 9月19日（火） 14:25～16:15 講義・演習 <p>3 講義、実習等の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月12日（火） 企業等がブランドイメージを変えるために行っている「リネーム」（元々の名称を新しい名称に変更すること）について説明いただくとともに、グループに分かれ、「誰に」対して「何を期待するか」を明確にししながら、「リネーム」する対象となる学校行事を選ぶ演習を実施した。 ・ 9月19日（火） 伝える相手や目的・意図に応じて表現方法を考えることの重要性について説明いただくとともに、グループで選んだ学校行事を実際に「リネーム」する演習を実施した。 <p>4 成果（生徒・教員の変容及びねらいの達成状況等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義いただいた内容をもとに、既存の学校行事を多角的に捉えながら、新たな名前に「リネーム」する作業を通して、伝える相手や目的・意図に応じて表現方法を考えることの重要性を認識することができた。 ・ 「探究の過程」の「まとめ・表現」について、グループでの協働活動



を通して、他者の意見や考えを取り入れながら、よりよい表現方法を考えることができた。

○生徒のアンケートから（一部抜粋）

- ・物事を自分だけの視点で見ないで、色々な立場からの見方・考え方を働かせることの重要性を学ぶことができた。
- ・他の人の一つ一つのアイデアを組み合わせることで、よりよい考えができあがることを経験できた。
- ・グループのメンバーでお互いに色々な意見を出し合い、話し合うことを通して、協働活動の大切さを認識することができた。

※生徒による成果物

